

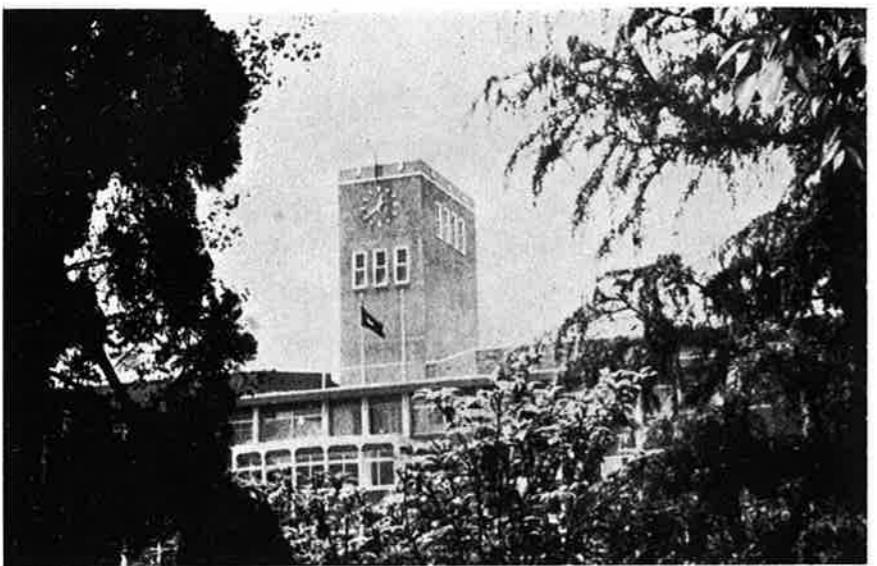


第5回 定期演奏会

創部10周年

大阪学院大学吹奏楽部

大阪学院大学吹奏楽部
創部10周年
第5回 定期演奏会



学
院
歌

作詞 久保田 晴
作曲 永井 誠次

浪華の里に雲薫り
陽は昇りたり美わしく
見よや簞笥も学舎は
ひとつに仰ぐ学産の
理念の光新たなれ
若き命の慕ひ来て
われら互に肩を組み
真理の道を踏みわけん
歴史を刻む学舎よ
技術と智慧に輝きて
若き翼に力あり
われら互に呼びかけし
理想を高くはたかん

あゝ大阪学院
わが大学



日時 昭和52年12月4日(日)
P. M. 5:00 開演
場所 森之宮青少年会館文化ホール
主催 大阪学院大学吹奏楽部
後援 全日本学生吹奏楽連盟
関西学生吹奏楽連盟
関西学生バトン連盟
大阪学院大学学友会本部

開催にあたって



大阪学院大学総長 白井善康

本学吹奏楽部の創部10周年、第5回定期演奏会が、大阪府立青少年会館文化ホールにおいて、めでたく開催されることを、心からよろこび申し上げます。

本学吹奏楽部は隠健中正な学風の学園にあって、音楽を通じ、人格の陶冶、人間形成に精進してまいりました。申すまでもなく演奏会は日頃の修練の成果の発表の場であり、豊かな音楽性が、聴衆の皆さんに必ず深い感銘を与えるものと期待しております。今後とも美と真実を追求し、高い教養と専門的な学識技能を身につけ、希望と人間味豊かな学園生活をおくって頂きたいものと念願してお祝いの言葉とします。



大阪学院大学学生部長 新井清

本日は、何かとお忙しい中を、本学吹奏楽部の第5回定期演奏会に、ご来場下さいましてありがとうございます。10年という歴史は決して古いとは申せませんが、その間、部員諸君が学業のかたわら、たゆまぬ努力をつづけ、部員の数もふえ、熱心な演奏活動を重ねたために、今日では、ようやく対外的にも知られるようになりました。このことは、学内においても、協調と連帯の空気を育み、学内のまとまりにも大きく寄与しているところです。これも部の発足以来、たえず暖い目で見守っていただいた関係の皆さんの力強いご支援の賜で、心からお礼申し上げますとともに、今後とも一層のご支援、御鞭撻のほどを御願い申し上げます。



大阪学院大学吹奏楽顧問 山本修

本学の吹奏楽部による第5回定期演奏会を開催されることは、まことによろこばしいかぎりであります。

今年の吹奏楽部は部員数も40余名に達し、より堅実なクラブとして発展して来ております。その技術もかなり向上したと思われ、これも先輩に優秀な指導者がいるからだと思います。この日のために精一杯努力して参りました姿を御理解していただき、今後とも御指導の程、よろしくお願ひいたします。



大阪学院大学学友会本部会長 矢田光義

私が初めて吹奏楽部のステージドリルを見ましたのは昨年の定期演奏会でした。その時の感動は今でも忘れられません。それから幾度となく見るたびごとに常に新しい感動で体がひきしまる想いでした。私は「我、大阪学院大学に吹奏楽部の精銳あり」と、私達の眼下にくり広げられるドリルを見るといつもそう思います。そして今回も素晴らしいステージが行なわれると期待し、吹奏楽部のドリルは日本一であると確信いたします。最後に定期演奏会が今回で第5回を迎え、増々吹奏楽部が発展する事を願いながら私の挨拶といたします。

開催にあたって

大阪学院大学吹奏楽部OB会 会員一同

本日は御多忙中にも拘りませず、大阪学院大学吹奏楽部創部10周年第5回定期演奏会に御来場頂きまして、誠にありがとうございます。発足以来、10年幾多の困難に出会いながらも本日ここに第5回定期演奏会を開催することが出来ました。しかしながら未熟な点、又、お聞き苦しい所も多々あるかと思いますが、部員の音楽に対する、ひたむきなそして真剣な態度をお聞きとり願えれば幸でございます。部員一同、10年間の集大成として一生懸命演奏致しますので、その成果をお聞き頂きたいと共に、これからもコンサートバンド、マーチングバンドにと一層の努力をするものですので、これからも暖かく見守って下さいよう、お願い致します。



大阪学院大学吹奏楽部部長 里村隆紹

本日は御多忙中、多数御来場くださいまして誠にありがとうございます。

我、吹奏楽部の演奏会も回を重ねてはや第5回となりました。又、今年は創部10年と記念すべき年であります。創部10年と歴史の浅い当吹奏楽部ではありますが、今年1年この演奏会を目標に部員一同一丸となって練習してまいりました。今回も皆様方に楽しんでもらえるものと思っております。最後になりましたが、今回の演奏会を開催するにあたり、御協力、御支援下さいました関係者各位並びにOB会諸氏には、厚く御礼申し上げます。

それでは、今宵の演奏会最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

京都サウンド・プロデュースでは 今宵のコンサートを録音し
想い出深い記念レコードを制作しています。

録音

企画



レコード

制作

株式会社 京都サウンド・プロデュース

〒606 京都市左京区聖護院山王町14 出雲会館内

TEL (075) 751-0138

1F 事務所

2F 録音スタジオ

3F いずもホール

第1部

若人の心

藤田玄播

フィガロの結婚

W.A.MOZART

「ローエングリン」より
大聖堂へのエルザの入場

RICHARD・WAGNER

第2部

ステージ・ドリル

ドラマ・メジャー 真田 明
サブドラマ・メジャー 米村享浩

第3部

ジミー・ウェブ曲集
アップ・アップ・アンド・アウェイ

JIMMY・WEBB

「惑星」より木星

GUSTAV・HOLST

ニュールンベルクの
マイスター・ジンガー

RICHARD・WAGNER

行進曲“若人の心”

本年度、全日本吹奏楽コンクール課題曲として藤田玄播氏によって作曲された軽快優雅な行進曲です。導入部1・2小節目のシンコペーションのリズミックさから始まり、木管のカンタービレな主題から、金管群のファンファーレ風な勇壮へと移行し、そして、静かに落ち着いたメロディーが、小川のせせらぎのように展開して、次第に、曲の気持ちの高まりをダイナミックに盛りあげていくのです。

序曲“フィガロの結婚”

モーツアルト(1756-1791)の4幕からなるオペラ・ブッファ。

ダ・ポンテ(1749-1838)の台本によるオペラの大作“フィガロの結婚”(K.V.492)に取り組み、完成は1786年4月、初演は翌5月1日にヴィーンの宮廷劇場でおこなわれ、大成功を収めました。

日本初演は、1952(昭和27)年10月、東京・歌舞伎座(芸術祭合同公演)。フランス革命の導火線になったと評されるボマルシェの同名の喜劇に基づくもので、権力者に逆らう機智にとんだ庶民の姿をいきいきと描いたモーツアルトの最大人気作。今宵はオペラの主要場面を描写した序曲をお送りします。

エルザの大聖堂への行進

「ローエングリン」は全体にロマンティックな感じをもった音楽で組み立てられているが、第2幕において、エルザが自分を助けてくれた、白馬の騎士とわかれ、その騎士との結婚をゆるされることになり、第4場で多くの貴族や人々のいる中を、婦人たちを従がえて寺院の大聖堂へ向う。その場面で演奏される、大変に優美で華麗な曲です。

ゆったりしたテンポの曲で、エルザの愛のテーマを中心に、妖女オルトルートの言葉から受ける不安と疑念の心をあらわすテーマとの組み合せがたくさんに書かれています。彼のこの作品からの大きな特徴は、劇曲が目的であって、音楽は表現手段であるという考え方です。そのため主要人物の性格づけには、特定の調性やテーマを用いているので、この場でのエルザの性格、感情の表現が印象的に出されています。のために「第一幕への前奏曲」「第3幕への前奏曲」などと共に、各部分的に演奏される美しい曲が多く見出されます。この「エルザの行列」もその一つでよく単独で演奏されています。

司会者プロフィール

林 順子 (朝日放送アナウンサー)

<主な番組> 朝日放送ラジオ 1010KH₂

「植草貞夫の スポーツ・スポーツ・スポーツ」

「東芝お好み笑ルーム」

「歌謡曲ぶつけ本番」

「土曜歌のサンルーム」

etc.....

その他、司会、CMなどで活躍中。

よろしく!



ステージ・ドリル

ドラム・メジャー 真田 明
サブドラム・メジャー 米村 亨 浩
バトン・トワリング・チーム



組曲「惑星」より木星

G・ホルスト作曲

惑星は作曲者ギュスターブ・ホルストにより1914年に着手され1920年には全曲の初演が行なわれました。木星は快樂の神といわれ全7曲の中でもっとも規模が大きく、かつ変化に富んでいる。また全体に明るく喜びにみちあふれている。曲中はホルンが活躍する。曲はアレグロ・ジョコーソ、ハ長調 $\frac{3}{4}$ 拍子でまずホルンによってリズミカルな第2主題が奏される。ついで民族舞曲風の第3主題。民謡風の親しみやすい第4主題を中心として息づまるような興奮をかきたてていき、強烈なコーダーで結ばれる。なお本日演奏の楽譜はカールフィッシャー出版です。

ニュルンベルクのマイスターインガー

R・WAGNER作曲

ハ長調、四分の四拍子で「きわめて中庸を保った速さで」とドイツ語により指定されている。金管木管が力強く堂々と「マイスターインガーの動機」(楽譜1)を奏します。これを扱って高潮したのちに、まずフルートから始まって、柔軟な旋律が表情ゆたかに現れる。これはのちの歌劇でのワルターとエーヴァの「愛の情景の動機」(楽譜2)である。これにもとづいて対立法的に進んでいき金管を中心にして明朗な気分でマイスターインガーの「行進の動機」(楽譜3)が奏しだされる。これにつづいて木管を中心にマイスターインガーの「芸術の動機」(楽譜4)が登場する。

しだいに対位的な厚みをまし、この庶民芸術をたたえるかのように大きくクライマックスをきずいたのち「仕事の動機」(楽譜5)を出す。ついで曲はホ長調になりクラリネット主体の「愛の動機」「樂譜6」を優美にうたわせる。これはすぐに又、クラリネット主体による「情熱の動機」(楽譜7)にひきつがれ、高揚してゆくと突然「マイスターインガーの動機」を軽妙に奏しだし、すぐこれに「情熱の動機」がからんでくる。

やがて「陽気の動機」(楽譜8)が沸きおこってきて、音楽はしだいに立体的になってゆく。

そうするうちに、その頂点でプラス主体が堂々と「マイスターインガーの動機」をだして、やがてこれに「愛の動機」と「行進の動機」が対位法的に加わり、すばらしい緊張感をもり上げてゆく。

それから最後には、「行進の動機」を中心にしてこの前奏曲を結び、その最後の和音で、第一幕が始まるわけである。なお、この曲の初演は1868年6月21日、ミュンヘンの宫廷国民劇場で、ハンス・フォン・ビューローの指揮のもとに初演され、大好評を博した。



ぱ あ



と 紹介



Piccolo & Flute & Oboe

我がパートは明るさをモットーにしています。まずは唯一の男性K氏。両手に持ちきれない花に囲まれてはすかしいのか、なかなか女子どもの前に現われて下さらず、いつも土壇場に現われて華麗なる音色をかもし出す謎の多き先輩です。次にゴッドねえちゃんことI・Mさんは、毎日ハードスケジュールに追われてスター並みの生活をしておられるガンバリ屋さんです。そして、小さな体での重たそうなフルートを持ってフーフー言っているのは1回生のMさん。今年新しく加ったオーボエのWさんは練習中、ラーメン屋さんが現われたのかと錯覚をさせてしまう時があるのです。3年後をお楽しみに………。最後に寝ることと4度の食事を生きがいに感じているOでした。

Clarinet

クラリネットの10名の紹介を始めます。まず(4回生)自分と同じくらいに細いBassclarを拥った里村先輩、早朝練習に1回だけ参加朝は苦手なんですね。(3回生)加藤先輩、この方は暇があれば喫茶店に行き、気が向けば授業に出られます。俺より先に成人式を迎えるなど怒っている富阪先輩。仕事に追われて授業に行けないのは嬉しいけれど、大好きなパチンコに行けないのはつらいと嘆く野村先輩。(2回生)髪も短くしました。サブドラマやる気十分の米村君。学校に来るのに教科書もノートも持て来たことがないという北岡君。(1回生)来年はBassclarにトレードされるのではないかと心配している末広君。卒業したら富山に帰ってくすりを売るという田中さん。淡路島を車で走りまわっている山崎さん。最後に筆者クラリネットの音を知らずに卒業していく2回生の世良でした。

Horn

我がホルンパートは朝は一番早く、夜は一番遅いという超ハードな練習?に耐えているパートなのです。これも鬼のパートリーダー今井氏がおられるからでして、ふだんは冗談の固りなのに、いざ練習となるとムチを片手に、おお、こわい!、なのです。そして、それとは正反対な2回生深尾氏は、熱心なクリスチャンで、何ど冗談の通じないといふじめ者なのです。中井氏は、一見おとなしそうのですが、一言話しかされると、我々は笑いが止まなくなってしまうし、おわかりのように我がパートは特殊な性格の持ち主が集まっているのです。そんな中に混じってしまった私め若林、1回生の少女の苦しみ?楽しさ?わかっていただけですか?

Cornet & Trumpet

すばらしく心の美しい“ハンサムボーイ”いつもそこら中あればまわっておられて愛車SRを時速100km/hで市内を信号無視しながら自分の事がステッピングレーダーと思ってハジキをもったサツを気にしないで走っておられるR・T先輩、寝ることとラップをもつくと自分が生きがいだと思っておられていつも、たよりがないある先輩なんですけど、ただ一つイヤな思い出があるんです。それはコンバの時私くしの下半身をゲロだらけにされたことです。T先輩とM先輩の下にいるわたくしムギジユースのおかげでひどい目にあったM・Hです。確かにオカマ芸という異色趣味の持ち主であるO君、純情可憐ではあるが、ひと皮むけば何が出てくるか分からぬT君。美しい女性を見ると理性を忘れて、ノコノコと後をつけていく立派なサムライのI君、ちまたの噂では絶世の助平集団として他のパートより恐怖の眼差しで見られている我等が6人でした。

Saxophone

我々サックスパートは、練習一筋をモットーとして日夜遊びにがんばっているという一癖あるパートです。サックスの伝統としようとして、クラブの練習が終って一番先に部室から姿を消されるのが三回生の辰森さん。いつも暇があれば喫茶店に行き、気が向けば授業に出られます。俺より先に成人式を迎えるなど怒っている富阪先輩。仕事に追われて授業に行けないのは嬉しいけれど、大好きなパチンコに行けないのはつらいと嘆く野村先輩。(2回生)髪も短くしました。サブドラマやる気十分の米村君。学校に来るのに教科書もノートも持て来たことがないという北岡君。(1回生)来年はBassclarにトレードされるのではないかと心配している末広君。卒業したら富山に帰ってくすりを売るという田中さん。淡路島を車で走りまわっている山崎さん。最後に筆者クラリネットの音を知らずに卒業していく2回生の世良でした。

Trombone

指揮棒より速く、旋律よりも音は大きく、臨時記号などひとつと。「だれや!」「ガーン」「こちらボーン」そうです遠い星からやって来た奇跡の男、音楽の常識を遥かに越えたトロンボーンマンです。曲の流れを変え、アレンジするぐらい朝メシ前、彼らは理性をなくし、岸辺のGメンとして、女子高生と単位修得日数を守るために、日夜のびのび育っているのです。まずパートリーダー野垣様。クラブきっての美男でとってもやさしい方ですが、あの目をカッと聞いておこられると我々は、おしつこをちびりそうになるのです。3回生の足長おじさん村上殿はうわさによると合奏中安眠するという人間わざとは思えない特技を持っておられるそうです。次は僕らのT.B先生風間さん。大食家でおまじスマートなパートで一人おなかが出てこまるのれす。そしてパチンコ屋を夜逃げさせた?北千里の男小西君と3ヶ月余パチンコ連続無勝記録保持者、草津線の星、小春君の一回生災難コンビ。それでは上記の事、絶対口外しないとかつてにお約束いただいて、おしまい!

Euphonium

この世の中にこの様なヒーローかつエンターティナー。そうですユーホスキのピンクボーイあります。四回生の真田氏を隊長として、唯一の二等兵である松岡が所属しているユニークなパートです。全部の部員をあっけと笑いのうずにまきこむほどの素人離れした落語の名手、もちろん隊長であります。顔はいつもニタニタ腹はビールばら?足は?女はもちろん?しかし笑いだけで練習は終りません。鬼に突然変身する隊長、それにくつくるスッポンの様な二等兵、苦しい。ドリルの時は二等兵君はいつも一人になり他のパートには負けられないと経験は浅いが頑張ってまちがっても苦にせぬ吹いてるよ、これでいいのか日本は?

Bass

O:「オーケイ!コーヒー飲みに行こうか」「どうもごっつあんんです」M:「こら練習もせんとどこへ行くんじゃ」K:「O先輩のおごりで茶店です」M:「こらちょっとまで、わしもしさかいに」我がチューバパートは今年より人員一名増員され総員三名となり、その三名が楽しくながよくやつります。練習にも気合が入り合奏中は指揮者さんにミストーンをなくすようにしかられています。ところで先輩練習時間をもっとふやしましょうかMさん。しかし夜は7時ぐらいには終りますよ。それでないと家に帰るのが朝になってしましますよ。ですから早くはじめて早く終るこの精神でチューバパートは永遠に不滅です。

Percussion

我々パーカッションは影の指揮者といわれて指揮者がいないマーチングドリルetc特に重要なポストをしめております。従って我々総員4名は少しでも上達せんと努力をしています。まず辻先輩(四回生)連盟の仕事で東奔西走して練習に来られると熱心にやっておられた後輩思いの良い先輩です。次は野呂先輩は涉外でクラブのためにがんばってくださってます。練習においては後輩の面倒見がよい先輩です。次に村田君(1回生)2ヶ月程前にベットより移籍して来ましたが彼より長く練習している僕、麻生(1回生)より上達して驚くばかりです。僕はリズム音痴ではクラブで一番でありそんな僕ですが良き先輩と共に練習しております。注:写真には辻先輩が写っておりませんので、あしからず。

Baton

みなさん、こんばんわ!吹奏楽部でただ一つ女子だけのパートです。清く、美しくをモットーに吹奏楽部でひとときわめだつ私たち4人です。1回生2人を加えて、やっと数だけはそろったものの質の方はまだまだ。でも「バトンは落ちるもの」という言葉を信じ、若さとチームワークを合言葉に毎日の練習に耐えてきました。私たち二回生2人にとっては最後の舞台。もう太い足を出して恥をかかなくてもすむという安心感と淋しさが入り混って何か複雑な気持ちです。でも今までの総決算として、1回生2人とと共に一生懸命頑張ります。

4回生 幹 部 紹 介

部 長 里 村 隆 紹



当部の部長さんを御紹介しましょう！宇治の大仏事、里村隆紹先輩です。いつもは無口で話しかければとてもユニークな先輩です。部室ではあまり目立たないんで、あるときは、後輩をいじめておられるとか……？でも里村先輩は仕事が忙しい為か、校内は別としまして、校外を愛車ブルーバードでかけ回っておられます。また、我々、クラリネットを代表する良き先輩でもあります、あるときは、サックス族に早変わり、なぜかって？それは、クラリネット族では(バスクラリネット)を吹かれて、また、サックス族の時は(バリトンサックス)を吹かれているのです。だから、いつも両手に楽器を持たれて、日夜頑張られています。

副 部 長 野 垣 智



我らの副部長、野垣先輩、怒られる時は、あの大きな目をピンポン球のごとく見開かれ、僕達は、この目にオソレをなしており、同時に、目がおちないかと心配しています。しかし皆んなで一緒に遊ぶ時は、子供の様に笑い、カンケリなどでは、カンを飛ばさずに、靴を飛ばすという秘技の持ち主。

またまた、パート練習や合奏の時には、びんぼうゆすりをし、それがなんと8分打ちで、正確に、合うという秘技を持っておられるのです。

今、数々の思い出がよみがえってきます。合宿で正座した事も今では懐かしくパートのコンペで定演頑張ろうと誓い合ったあの日、私達はこの様なよい先輩を持ったことをうれしく思います。

指 挥 者 北 村 浩



この方の顔から想像すると冗談にでも、二枚目とか真面目なとかは言えないのです。この顔写真を篤と見てやって下さい!! どこか笑いを押し殺せない部分がありませんか？、腸捻転でも煩わしそうな所が。そうです。我吹奏樂部きってのドヂなカタであります。全く顔に似合わずのデリケートな神経の持ち主ではありますが、それと裏腹に一挙一動が何か「ウフッ、ブフッ」と吹き出したくなつて来る様な滑稽さが身体の底から沸き起こつくるのであります。そうです。いわゆる「どんくさー」と言うアレです。ひょっとして今宵の演奏会、ズボンのチャックを開けてタクトを振っているのではないでしょうか!?

ドラムメジャー 真 田 明



ついに出てきました。学院のマーチングディレクター真田明氏、彼は2回生からドラムメジャーをされ、学院のドリルを今日の地位に引き継ぎあげた功労者であります。ある時は、鬼のごとく竹刀が飛んでくる。そして又、ある時は兄貴のごとく後輩の面倒をよく見てくれる。このように3年間もメジャーを務められたかたは関西多数の大学があれども2人といないでしよう。この怪人は日頃どのような生活を送つておられるかと申しますと合奏中は椅子に座ぶとん3枚おき“痔”と戦いながらユーホニウムをオナベットのごとくなめつくしてユーホの音、自分の音をと追求されています。今日までに10余のドリルを作られて来ました。いろいろな苦労がありました。自分が年下であるだけに先輩に対しても思い切ったことが言えず、じれんまにおち入つたこともたびたびあったと言われます。今夜は3年間の汗と涙と笑い喜びを結集し、彼の最後のドリルとなりました。部員全員が自信をもってお送りします。なにとぞ、すみからすみまで目を皿にしてご観察くださいませ。ほんとうに四年間おつかれさまでした。



連 盟 収 政 広

この先輩は、関西学生吹奏樂連盟役員の企画という仕事についておられる大変お偉いお方で、酒好き、エロ好きで、特に中年女にはもうメロメロ。先輩曰く、若い女より中年がなんと言っても良い。と鼻を下の長くして、ニヤケつぶやいておられます。先輩もいやはや、4年間で養成されたようあります。さて、くだらないことはさておきまして、クラブではパーカッションのティンパニーの鬼ことニヤケの先輩で、いつもメトロノームを前にして、たいこのバチをたたき練習され、その真剣なまなざしさはきびしいです。さてこの成果は、この演奏会でるでしょうか。みなさんよく聞いて、まちがわれましたら、だまって、大きな声で……。

庶 務 谷 川 良 三



我、吹奏樂部で庶務をされている谷川先輩は、今日もクラブにそして又、庶務としても大活躍をされています。クラブはもちろんのこと、仕事熱心で後輩思いの良い先輩です。愛車、カローラS Rを乗り回し、仕事に行くにも愛車で突っ走るという人です。ここで、最も信頼を必要とする庶務の仕事を紹介させて頂きます。責任感、記憶力その他幅広い範囲の仕事をやらねばなりません。その仕事を先輩は、良い頭脳と体力と責任感、行動力を持っておられ仕事をこなされています。また、先輩はお酒が好きで、今日もお酒と共に人生を送られているとか……？とにかくよき先輩であり、又後輩には良きアドバイスをして下さる人であります。

庶 務 大 野 幾 雄



4回生の中で、真田氏と肩をならべるくらい、おもしろいことの好きな人で、一日中おもしろいことを言つてはみんなを笑わせております。

そんな人ですから、遊びに関しては、幅広いレパートリーを持っており、競馬・競輪(?)パチンコ・マージャン(?)などの本格物から、一般的なセコセコゲームまで、いろいろと知つておられます。

今ごろは仕事が忙しいせいか、あまりそういう話はでできませんが、それでも毎日、何やかんやと言つては、我々を笑わしてくれます。ほんとにいい人です。



短大2回生紹介



大西和美

わがフルートパートに咲く一輪の花?! それは何をかくそう大西先輩なのであります。先輩は一見おとなしそうにみえますが、実はとても笑いじょうごなのです。でも練習中は笑いも消え、本当に大西先輩かと思うくらいおっかない先輩と変身して、あの愛らしい口からは想像できないようなことばもとびだすのです。あのフルートのようなスマートな体からにじみでてくる練習に対する意欲と愛情。その意欲と愛情があのやさしくかつ、おとなしい大西先輩を鬼のごとく変えてしまうのです。



世良成子

我、クラリネットの先輩で唯一の女性である世良先輩。練習の時は“しっかり吹きなさい”“ハイ。もう一度”とても厳しいのに練習から一步ぬけるとケロッコ、デメタンクもびっくりするようなクルクルした目を大きく見開いてケラケラ笑われるので。また失敗談も数多いがその一幕、依頼演奏にて……世良先輩“先輩疲れたでしょう、肩をもみましょう”先輩“いい、いい”ビリッ世良先輩“アッ！すいません。縫いますから脱いで下さい。先輩、脱いで下さい”……こんな事はいつものこと。でも、そんな先輩が、日増しに綺麗になっていかれるのはもしかしたら……? パートのマスコットガール? として、私達も先輩の後を継いでいるのでしょうか。



バトンリーダー 藤原まつほ

観光地大三島からはるばるこの大阪学院短期大学へ来られた藤原まつほ先輩は西城秀樹ファンで一人旅と東京へ行くことにあこがれておられます。おこられるととっても恐いのですが、ふだんはおもしろく個性的で大人っぽい魅力のある女性です。いろいろな苦労があったことと思いますが、この二年間でバトンパートを作り上げた先輩の一人であります。練習中はきびしくまたみんなをリードし、全体を盛り上げる尊敬すべき先輩です。せっかく身につけられたバトンも残念ながらこの定期演奏会で最後になりました。



バトン連盟 藤川順子

藤川先輩は吹奏楽部内の唯一の女性だけのパート『バトン』で“花”とささやかれるようなかわいらしい?方で、いつもやさしく私達に接してくれる、話しやすい良き先輩です。先輩は小さな身体でもファイトある方で、関西バトン連盟の役員として急がしく働かれながらももくもくと練習をして、とても大学にはいってからバトンを始めたとは思えないような技術を持っており驚くほどです。それはこの定期演奏会においての先輩の演技を見ていただければわかると思います。どうか藤川先輩に御声援を!

PERSONNEL

CONDUCTOR.....北村 浩 (商4—京都 洛南)
SUB CONDUCTOR.....森田正憲 (商3—島根 川本)

Piccolo & Flute

村本泉美(外3—鳥取 倉吉西)
大西和美(短2—愛媛 南宇和)
向原美智子(短1—岡山 玉島商業)
橋本泰典(楽 友)

Cornet

森田正憲(商3—島根 川本)
平田守(経2—京都 洛陽工)

Trumpet

谷川良三(経4—京都 洛南)
伊藤喜治(経1—大阪 箕面東)
小川恵治(経1—大阪 交野)
田中義春(法1—京都 洛南)

Clarinet

加藤清司(商3—京都 大谷)
富阪真司(経3—京都 大谷)
野村寿文(経3—滋賀 宇治)
北岡義之(経2—京都 大谷)
米村享浩(経2—鳥取 鳥取東)
世良成子(短2—広島 (県)北陽)
末広幸男(経1—大阪 交野)
田中美智代(短1—富山 伏木)
山崎晃子(短1—広島柳学園)

Trombone

野垣智(商4—兵庫 大阪学院)
村上薰(商3—京都 大谷)
風間裕之(経1—兵庫 尼崎西)
小春誠治(外1—滋賀 栗東)
小西正彦(経1—大阪 大阪学院)

Euphonium

真田明(経4—京都 洛南)
松岡幸信(経1—大阪 高槻南)

Bass Clarinet

里村隆紹(法4—京都 平安)

Bass

大野幾雄(経4—和歌山 南部)
水口幸信(経2—兵庫 箕面学園)
児玉治郎(経1—島根 津和野)

Alto Saxophone

辰森茂樹(商3—大阪 大和川)
倉光秀明(経1—大阪 箕面自由)

String Bass

後藤哲次(楽 友)

Tenor Saxophone

西野勝(経2—大阪 大阪産業大付)

Percussion

辻政広(法4—京都 亀岡)
野呂康成(経3—滋賀 (県)石山)
麻生明文(法1—神戸 育英)
村田和久(経1—三重 松阪)

Horn

今井雅信(商3—京都 大谷)
中井孝幸(商2—京都 洛南)
深尾吉彦(商2—兵庫 大阪学院)
若林路子(経1—和歌山 海南)

Baton

藤原まつほ(短2—愛媛 大三島)
藤川順子(短2—広島 戸手商業)
松本幸子(短1—広島 因島)
神戸中智子(短1—兵庫 明石商業)

十年間のあゆみ

43年5月、3回生であったT氏を中心に大阪学院大学吹奏楽部が産声を上げた。当時の部室は学舎の一室にあったと聞く。新生吹奏楽部にとって直面する諸問題の1つは楽器の購入にあったに違いない。

T氏は「大学から全面援助だった」と、いつも簡単に答えられた。しかし、現在でもそうであるように過去においても、一つ一つが高価である楽器を購入しようとする事は、並大抵の事ではなかっただろうと、その影がうかがえる。15名の部員が一室又は、学舎周辺で音を出すのである。当然の事ながら教授から文句があったと思われる。

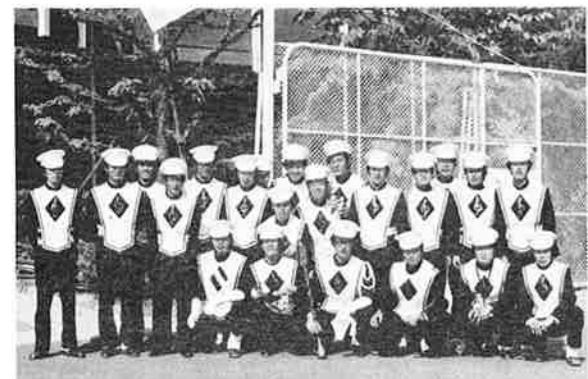
T氏はその模様を、さも懐かしそうに「色々な教授や事務局の人達が来られたもんだ……」と仰られ、又、その部室が総長室の裏だったと知って我々は目を丸くしたのであります。その年の大学祭が初演奏であり、この時、すでにマーチングも始められており、この年、関西学生吹奏楽連盟に加盟した。

練習はいつも教室か屋外、きっと数々の諸問題が回りを埋めつくしていたであろう。



46年、部員数も増え、プレハブではあるが練習場も立ち、各方面に演奏活動を行ない、吹奏楽部としての基礎も固った。翌47年、夏期合宿を兼ねた演奏会が福井県で行なわれ、小学校の体育館が大入満員の拍手を浴びたと聞く。その感激を基に定期演奏会の準備が着々と進み、48年12月4日、各方面からの指導を受け第1回定期演奏会の幕を上げたのである。以来、ここに第5回定期演奏会を開催する事が出来るのを心から喜ぶと共に我々の先輩諸氏が歩んでこられたこの一步一步を、決して忘れてはならない。

部室にしろ練習場にしろ毎年の様に移転して来た今、又、新しく総合クラブハウスの骨組が来年3月を目標に進んでいる。ボックス・練習場は11年目にして定着する事になった。以前とは比べ物にならない程のりっぱな設備と聞いている。であるからこそ我々は過去を忘れ、現在にあまんじてはならないのである。将来の発展を目指し、先輩諸氏の様に一步一步前進しなければならない。今、10年前を身近に知らしてくれるのは倉庫の隅にある赤茶けたボロボロの楽器だけとなつた……。



O B 会 員 名

S 4 4 年卒	宅 間 正 彦	彦 行 清 義 和 史 昭 美 作 広 照 子 夫 子 也 子 郎 代 彦 彦 裕 敏 枝	S 4 8 年卒	田 胡 村 欣 京
S 4 5 年卒	佐 藤 邦 濱 中 濱 本 田 吉 須 賀 吉 衣 横 名 川 川 岸 岸 藤 柳 門 田 田 田	井 邦 洋 隆 俊 晴 栄 和 高 真 邦 寿 和 恵 和 洋 和 敏 雅 良	S 4 9 年卒	谷 中 山 石 河 成 藤 伊 中 藤 松 小 谷 小 加 金 仲 藤 丸
S 4 6 年卒	松 広 川 川 湯 坂 吉 須 賀 吉 衣 横 名 川 川 岸 岸 藤 柳 門 田 田 田	瀧 中 濱 田 本 田 原 田 川 山 村 縁 縁 田 田 井 原 田 上 田	S 5 0 年卒	根 坂 原 江 中 川 井 東 林 沢 尾 野 垣 川 茂 瀬 野 本 岡
S 4 7 年卒	川 湯 坂 吉 須 賀 吉 衣 横 名 川 川 岸 岸 藤 柳 門 田 田 田	瀧 中 濱 田 本 田 原 田 川 山 村 縁 縁 田 田 井 原 田 上 田	S 5 1 年卒	由 文 祖 成 藤 伊 中 藤 松 小 谷 小 加 金 仲 藤 丸
S 4 8 年卒	彦 行 清 義 和 史 昭 美 作 広 照 子 夫 子 也 子 郎 代 彦 彦 裕 敏 枝	正 英 清 義 和 史 昭 美 作 広 照 子 夫 子 也 子 郎 代 彦 彦 裕 敏 枝		美 博 忠 寿 賢 貴 利 竜 了 和 信 勝 雅 芳 真 昭

管 樂 器

打 樂 器

その他の楽器

樂譜の

お問い合わせは **J** **十字屋**

京都市中京区三条寺町東入
元百四
075-211-2431

オールナイト 喫 茶

プチ モンド



大阪市東淀川区豊里町 967-5
TEL (06) 327-0289

出血大サービス
パチンコ・麻雀

正 雀 会 館

摂津市正雀本町 1の34の2

祝

第5回 定期演奏会

御用命は古い歴史と新しい技術の 創業明治45年

株式会社 大 黒 屋

東大阪市下小阪 TEL 06 (721) 7150

TEA ROOM

Rodin



☆ 庭が見える 上品で明るい店内……

純喫茶

ロタウン

大阪市大淀区中津浜通2-3 三恵ガーデンハイツ1F(東洋ボウル前)
TEL (373) 1401

コンパ大歓迎!!

和食 洋食 中華
あらゆる宴会を引きうけます
御予約は、宴会部 長沼まで ☎309-2220

+ミサンポード

大阪市淀川区十三本町一丁目
阪急電車十三駅西口より1分

この味を食べて愛して
またきてや!

またきてや

国鉄岸辺駅前通り
TEL 06 (383) 1415

café
ALPHA



吹田市岸辺駅前通 TEL 383-4903

出玉最高
麻雀・パチンコ・ビリヤード
岸辺一番

吹田市岸辺南一丁目

祝 創部10周年 第5回定期演奏会

営業種目
ベッド部 ラブリーベッド製造元
マット部 スプリングマット他各種
インテリア部
店舗改築
室内装飾
工芸部 下滝工場 兵庫県氷上郡山南町下滝
輸出入・国内向
各種模範製作卸

野垣工芸株式会社

本社 兵庫県氷上郡山南町太田456
TEL 山南07957(7)0095代表
下滝工場 兵庫県氷上郡山南町下滝
TEL 山南07957(8)0728

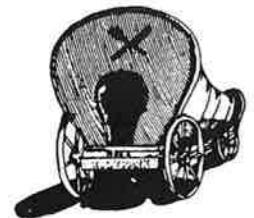
株式会社

菊屋自動車工業所

運輸大臣認定 } 民間車検工場
大阪陸運局長指定

大阪市東住吉区杭全町518番地
TEL (06) 713-1881~2

珈琲館 BON



吹田市岸辺南2丁目40-2

**コーセン
レンタカーセンター**

学生の引越しレンタは
1時間 ₪ 2,000.-より
吹田営業所
吹田市内本町1丁目11番地18号
TEL 06 (381) 6672

**YAMAHA
BRASS & WOODWIND INSTRUMENT**

☆管楽器セール実施中

☆管楽器診断コーナーもあります。

日本楽器心斎橋店

大阪市南区心斎橋筋2-39
TEL 06-211-8331

※ 各団体の定期演奏会にも宜敷く御指命下さい

大阪フォトサービスカンパニー

大阪市西区鞠本町3-8-8 (第3奥内ビル)
PHONE (443) 7608・7609



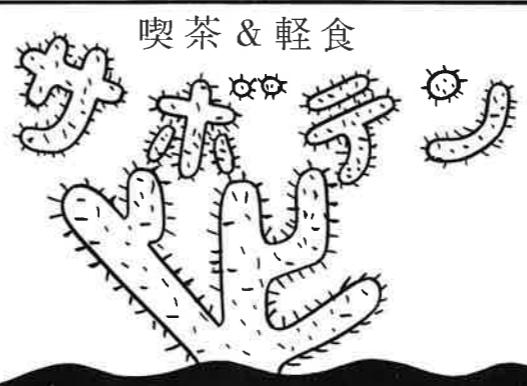
なごやかな
ファミリームード
彼女とのディイトに.....

喫茶 & スナック
せいわ

祝 第5回定期演奏会

ユキ
喫茶 幸

堺市野尻町515番地
白鷺OSセンター入口
TEL (0722)85-3468



吹田市岸部南3丁目22-2
TEL (06) 381-0014

教科書・文具・日用雑品
寝具・コピー・写真・タバコ
電器機具・自動車教習所申込

大阪学院大学購買部

TEL (直) 382-9071
TEL 381-8434 内線178

営業時間

AM. 8:40~P.M. 6:00
P.M. 6:00~P.M. 8:00



喫茶 & 軽食

ケーフ。

周防町店：南区畠屋町3-1 日宝周防町会館1F
TEL 241-9588
営業時間 AM11:30～AM5:00(翌日)

笠屋町店：南区笠屋町33-2 日宝セントラルビル1F
TEL 211-1084
営業時間 PM6:00～AM3:00

上六店：天王寺区上本町7-65
TEL 779-2258
営業時間 AM9:00～PM7:00



高級美術印刷物やカレンダー等の
ご用命はぜひ当社へ！

取り扱い品目：カタログ、ラベル、タックシール、下げ札、
トムソン函、写真製版、カレンダー、日表、
写真月表、文字月表、その他、印刷物全般…

株式会社 大晴社

540 大阪市東区竜造寺町19番地
電話：大阪 06 (761) 1587～8

箏曲部
定期演奏会
12月17日(土)

大阪屋証券ホール 地下鉄北浜

総合レジャーセンター
上新庄一番

パチンコ・玉突・喫茶店
大阪市東淀川区瑞光通り一丁目二番地
TEL 329-4791

建造物に挑戦

創意と技術の追求

かわらない信頼



三愛美装株式会社

大阪市西区江之子島1丁目7番5号(三欣ビル4F)

TEL (06) 448-6568～9

若人の憩いの場！

TEA ROOM



大阪市西区堀江立花通5-13(日吉公園前)

TEL (06) 541-0592

厚生年金会館、市立図書館の近く、ぜひお立ちより下さい。

編集後記

本日は御忙しい中御来場下さいまして、誠に有難う御座います。長かったこの一ヶ月、野垣先輩にも何度もなられながらもうやく編集後記だけとなりました……。このプログラム等の印刷物におきまして何かお気付きの点がありましたらアンケート用紙にお書き頂ければ幸です。それでは、おやすみなさい……。

第5回 定期演奏会
プログラム

発行 大阪学院大学吹奏楽部

編集責任 加藤清司

発行責任 里村隆紹

印刷 大晴社